

工事名		施工年月日	
工事店名		連絡先	
器具品番		使用電源	
取付台数		使用電圧	
使用ランプ		ブレーカー No.	
配線図			

保証とアフターサービス

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より3年間です。
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。

*物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。

保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。
保証期間内でも有料になることがあります。詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間にについて

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510
仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 [法人向けLED照明
ホームページ](http://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/) <http://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/>

製品に関するお問い合わせは(通話料無料)
LED照明サポートコール **0800-111-5300** (受付時間) 平日9:00~17:00、土・日・祝日9:00~12:00/13:00~17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは
(通信料無料) **0800-888-2600** (メールフォームにご記入のうえ送信してください) <https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/>

人感センサー付高天井用LED照明
人感センサー付LED投光器

電気工事必要

この器具の取り付け工事は、必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。資格を持たない方による電気工事は、法令で禁止されています。

安全上の注意

ここに示した注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味

!
注意を促す記号

!
してはいけない
[禁止] 内容

!
しなければならない
[指示] 内容

施工担当者様へ

●設置が終わりましたら、この施工説明書を必ずお客様にお渡しください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



必ず実施

●同梱の専用電源ユニットを使用する
必ず同梱の専用電源ユニットを使用してください。また、既設の放電灯安定器や、他社製のLED照明電源には取り付けないでください。誤って取り付けた場合、不点灯や器具破損、感電・火災の原因になります。

●施工は施工説明にしたがい確実に行う
施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定などの法令や規格にしたがって行ってください。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因になります。

●落下防止ワイヤーを使用する
器具の設置には必ず落下防止ワイヤーを使用し、重さに十分耐えられる軽量や器具に固定してください。取り付けないと落下による重大な事故の原因になります。

●適正温度・適正環境で使用する
屋内・屋外で使用できますが、-10°C~40°Cの範囲で使用してください。高温で使用すると火災の原因になります。また、湿度が85%を超える環境での使用は、絶縁不良、感電の原因になります。

●電源は定格電圧・定格周波数で使用する
本器具は日本国内のAC100-242V専用(電圧変動±6%以内)、電源周波数50/60Hz用です。正しく使用しないとLEDチップの短寿命や火災の原因になります。



禁止

●粉塵・オイルミスト・引火性ガスや虫の発生する場所には取り付けない
発熱・発煙・発火の原因になります。

●破損している器具を取り付けない
感電・火災・落下によるけがの原因になります。

●分解や改造はしない
器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災などの原因になります。

●可燃物に近づけた設置をしない
器具を布や紙などの可燃物でおおったり、かぶせたり、燃えやすいものに近づけたりしないでください。器具破損、火災の原因になります。

●大量の水がかかるところや、浸水するおそれがある場所には取り付けない
器具および電源は防噴流型であり、防水型ではありません。正しく使用しないと火災・感電・故障の原因になります。

●未接続で放置しない
電源の2次側を器具に接続しないまま放置しないでください。やむを得ず2次側を結線しない場合には、電線をまとめて確実に絶縁処理をしてください。火災の原因になります。



禁止

●器具は平らな面に取り付ける
必ず構造物などの平滑な面に取り付けてください。落下や転倒による事故の原因になります。



●高天井用LED照明の器具は下向き以外で使用しない
落下による重大な事故の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



必ず実施

●接地(アース)工事を確実に行う
「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。接地工事が不完全な場合、感電の原因になります。



●電源と器具の結線を確実に行う
電源ユニットの2次側はDC出力です。結線は電源ユニット銘板の表示のとおりに行ってください。正しくないと破損や不点灯の原因になります。



●2台以上設置する際は間隔をあける
電源ユニットを2台以上並べて設置する場合には、放熱を考慮して電源ユニットの長手寸法以上の間隔をあけてください。電源ユニットを箱の中に収納する場合には、排気ファンを設けるなどして、放熱を十分に配慮してください。

●投光器は風速60m/sを超える風を直接受けける場所や、経年で強度が低下する場所に取り付けない
60m/sを超える風を受けると落下するおそれがあります。また、経年使用により取り付け部の強度低下が進むと想定される場所には、取り付けないでください。



●電源ユニットの出力線に力を加えない
出力線を持って電源ユニットを運搬しないでください。断線や絶縁破壊、接触不良による発熱事故の原因になります。

●酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、海岸に近い地域や海上では使用しない
腐食による絶縁低下で故障や感電、落下によるけがの原因になります。

●常に湿度の高い場所には取り付けない
器具および電源は防噴流型です。防湿性はないため常に高湿度の場所では使用しないでください。絶縁不良や感電の原因になります。

●点灯中・消灯直後にさわらない
灯体や電源ユニットが高温になっていることがあります。また、経年使用により取り付け部の強度低下が進むと想定される場所には、取り付けないでください。やけどの原因になります。

●硫黄成分がある場所には取り付けない
一般屋内で使用する場合でも、メキ工場など硫黄性ガス・蒸気や液体にさらされる可能性のある場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。

取り付け方

！警告

●作業前に、必ず電源を遮断してください。感電の原因になります。

1. 器具を取り付ける

！警告

器具の荷重に耐えるところに取り付ける

取付部の強度が足りないと器具落下や転倒の原因になります。

器具の取り付けは確実に行う

取り付けが不完全な場合、落下の原因になります。

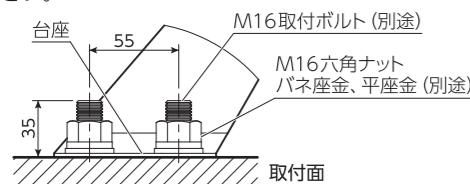
複数台の器具を取り付けるときは、専用電源ユニットを隣接した場所に設置しない

近くに設置すると熱がこもり、電源ユニット破損の原因になります。

※寸法の単位は [mm] です。

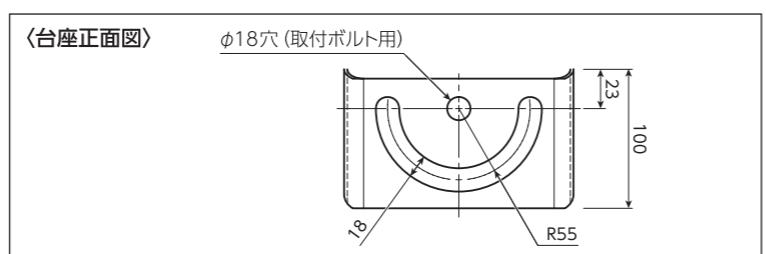
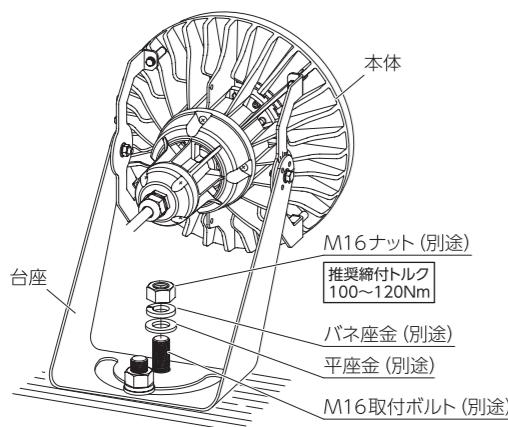
■人感センサー付LED投光器の取り付け

1. 取付面に下図取付穴間隔でM16取付ボルトを2本設置してください。



2. 取付ボルトを台座の穴に挿入して、M16ナットで確実に締め付けてください。

※締め付けが不十分な場合は、器具の転倒や落下による事故の原因になります。

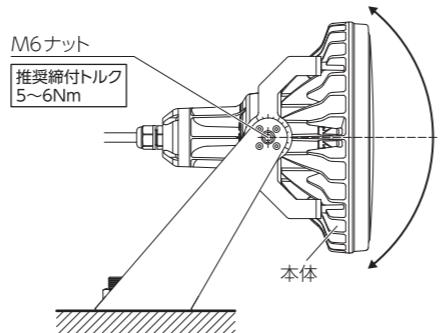


■照射角度の調整

1. 照射角度の調整は、下図の本体をしっかりと支えながら、ナット（2箇所）を緩め、ゆっくりと角度調整してください。

2. 調整後はナットを確実に締め付けてください。

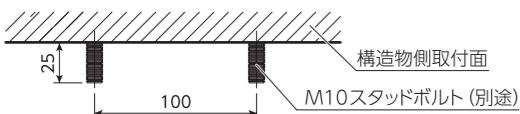
※締め付けが不十分な場合は、器具の転倒や落下による事故の原因になります。



■人感センサー付高天井用LED照明の取り付け

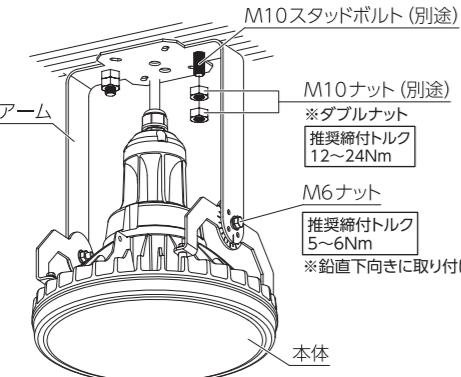
〈ボルト固定する場合〉

1. 取付面上に下図取付寸法でM10スタッドボルト2本を施工してください。

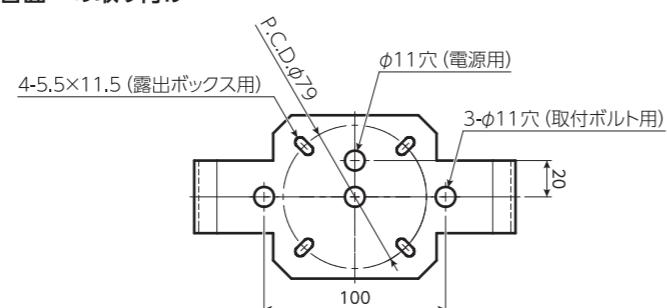


2. アーム取り付けは必ずダブルナットで締め付けてください。

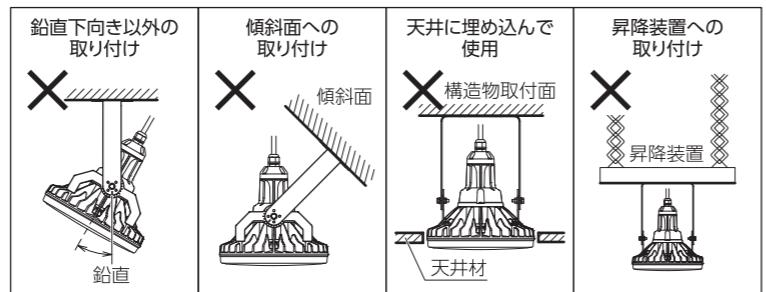
※締め付けが不十分な場合は、器具の落下による事故の原因になります。



■各面への取り付け



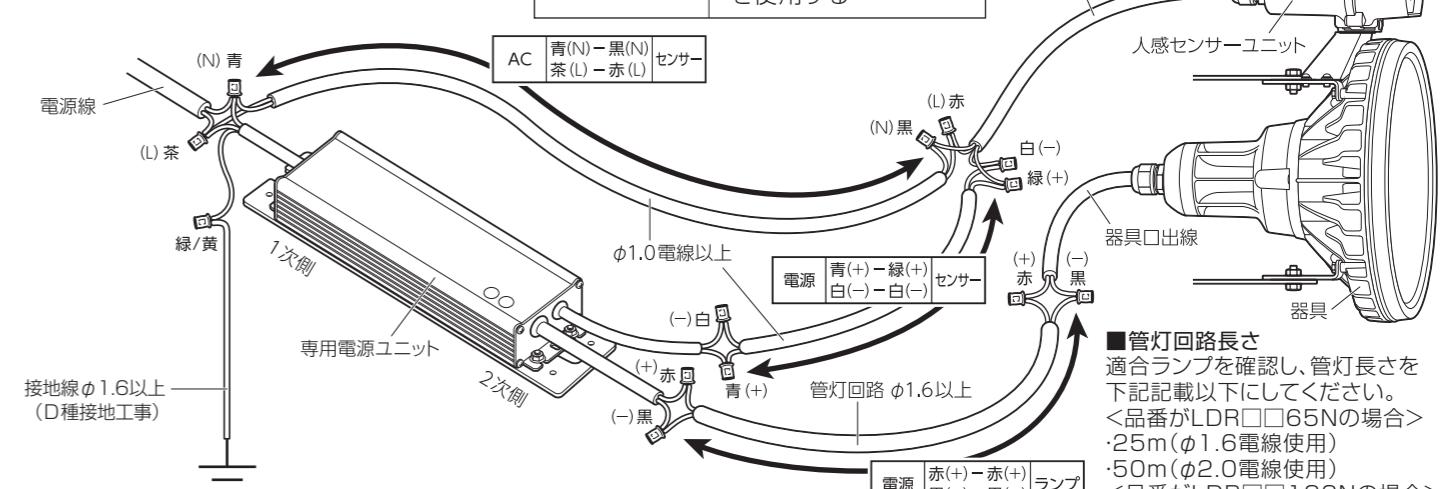
※下記のような取り付けはできません。



2. 器具と電源線を結線する

！警告

同梱の専用電源ユニットを使用する



1. 電源設備の技術基準省令第7条に従い、電源線に専用電源ユニット1次側の青茶線およびセンサー口出線の赤黒線を、圧着端子、スリーブ等を用いて確実に接続する。

！警告

接続が不完全な場合、接続不良による発熱により、火災や器具破損の原因になります。

2. 専用電源ユニット1次側のアース線を使用して、D種接地工事を確実に行う。

！警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。

アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因になります。

3. 接続部は絶縁テープ等で絶縁被覆処理を確実に施す。

！警告

接続部の絶縁処理が不完全な場合、漏電・感電の原因になります。

3. 専用電源ユニットと器具を結線する

1. 専用電源ユニット2次側の赤線を器具口出線の赤線、2次側の黒線を器具口出線の黒線と結線する。

！警告

接続が不完全な場合、接続不良による発熱により、火災や器具破損の原因になります。

2. 専用電源ユニット2次側の白線をセンサー口出線の白線、2次側の青線をセンサー口出線の緑線と結線する。

！警告

接続が不完全な場合、接続不良による発熱により、火災や器具破損の原因になります。

3. 接続部は、絶縁テープなどで確実に絶縁処理し、防水性のあるボックスに入れるなどの防水処理を確実に行う。

！警告

接続部の絶縁・防水処理が不完全な場合、火災・感電・漏電の原因になります。

4. 落下防止ワイヤーを取り付ける

〈取り付け例〉

必ず付属の落下防止ワイヤーを使用し、器具の荷重に耐えられる軸体や構造物に取り付けてください。
(取付金具は別途ご用意ください。)

※取り付けが不十分な場合は、照明器具が外れたとき、落下による事故の原因になります。

